

## 一般社団法人日本調理科学会 2022年度 第3回理事会議事録（案）

日 時：2022年 9月 1日（木）16：00～17：40

場 所：オンライン開催

出席者：綾部園子会長，新井映子筆頭副会長，真部真里子副会長，平尾和子副会長，佐藤靖子，高澤まき子，藤井恵子，阿久澤さゆり，小西史子，杉山久仁子，柳沢幸江，和泉秀彦，中澤弥子，久保加織，北尾悟，坂本薫，杉山寿美，岡本洋子，秋永優子，田原美和，郡田美樹，三神彩子，三宅裕子，宮藤章（以上理事24名）  
飯田文子，高村仁知（以上監事2名）

本日の理事会は，定款第33条理事の過半数の出席（理事24名全員出席）を満たし成立。

### 【配信資料】

資料1：一般社団法人日本調理科学会 2022年度第2回理事会議事録（案）

資料2： 同 2022年度 編集委員会論文審査状況報告

資料3： 同 2022年度 情報管理委員会報告

資料4： 同 2022年度 特別委員会報告

資料5：災害時メニュー開発に関する研究委員会報告

資料6：次世代に伝え継ぐ 日本の家庭料理研究委員会報告

資料7：特別研究 多様な調理法と家庭料理の伝承研究委員会報告

資料8：一般社団法人日本調理科学会2022年度大会 事業報告会及び学会賞授与式次第

資料9： 同 2022年度企画・広報担当報告

資料10： 同 2022-2023年度理事職務分担変更報告

資料11： 同 2024年度大会の件

資料12：新企画「調理科学の百科事典」の件

回収資料：新入会員（2022年6月6日～2022年8月31日入会申し込み者）一覧

### 1. 議長，議事録作成人，署名人選出

前例により，議長は綾部会長，議事録作成人は高澤庶務担当理事，議事録署名人は綾部会長，新井筆頭副会長，飯田監事，高村監事とする。

### 2. 前回議事録（案）確認

2022年度第2回理事会議事録（案）（資料1）が確認され，了承された。

### 3. 議事

#### 【報告事項】

#### (1) 業務執行理事からの業務執行状況に関する報告の件

綾部会長，新井筆頭副会長，真部副会長，平尾副会長より業務執行状況について報告があった。

#### (2) 常置委員会からの報告の件

##### 1) 編集委員会

資料2に基づき，新井副会長より論文審査状況について，投稿数計の数値から，現在13件であり2022年度に比較すると少し早いペースでの投稿状況であるとの報告があった。また，論文却下が出ないような投稿をぜひお願いしたいとのことであった。

## 2) 情報管理委員会

資料3に基づき、真部副会長より2022年度大会J-STAGE公開、ホームページの管理、メールニュース発行、転載許可について報告があった。2022年度大会J-STAGE公開に関する準備日は9月1日ではなく9月2日であることの訂正があった。

### (3) 特別委員会からの報告の件

資料4に基づき、綾部会長より刊行委員会および記念出版委員会の以下の報告があった。

#### 1) 刊行委員会

クッカーサイエンス010「ふくらむ加熱調理ーコロッケのはれつ・ドーナツのきれつー長尾慶子著」が8月30日に刊行され、日本調理科学会年次大会受付に見本・注文用紙を置くこととなった。

#### 2) 記念出版委員会

##### ① 受賞について

「全集 伝え継ぐ 日本の家庭料理（全16巻）企画・編集 一般社団法人日本調理科学会」が今年「第13回辻静雄食文化賞」を受賞し、本学会の取り組みが大きく評価された。

##### ② データベース化について

上記本のデータベース化が現在は作業中であるが、今後、「ルーラル電子図書館」で公開される予定であり、5か月使用できる体験版（無料）のIDを発行することとなるのでぜひ利用してほしい、この件は8月25日のメールニュースでもお知らせしたとのことであった。

### (4) 研究委員会からの報告の件

#### 1) 災害時メニュー開発に関する研究委員会

資料5に基づき、綾部会長より説明があった。今後は、災害時にその地域の会員から炊き出し要請をしてもらいNPOキャンパーが出勤するような仕組みにするよう災害時メニュー開発に関する研究委員会組織について検討し、来年度から活動できるようにしたいとのことであった。

#### 2) 次世代に伝え継ぐ 日本の家庭料理研究委員会

資料6に基づき、委員長の平尾副会長より、3日（大会2日目）に予定されている「総まとめ報告書等説明会」について説明があった。事前に全国配信する資料を基に報告書の説明を行い、会場での質問に加え、アンケート用紙の配布やvoice(研究会アドレス)でのメールで対応する。説明会に参加できない会員にはオンデマンドで視聴してもらい、voiceでの質問を受ける予定である。またオンライン上でポスターデータを示すようになったため、チェックしたところ著作権に触れ、問題になるケースが多かったため、本年次大会では、データ差し替えをせざるを得ず、実行委員会にご迷惑をかけた。報告書においても著作権についての問題が起こらないように、本説明会では具体的な例を挙げながら説明をすることにした旨の報告があった。さらに、本家庭料理研究委員会は、来年3月で閉じるため、2年分のCDおよび報告書を会員へ配送したいため、各支部から該当者連絡先送っていただくことになる。また、今後は論文審査委員会（仮）の設立も考えていることについても報告があった。

#### 3) 特別研究 多様な調理法と家庭料理の伝承研究委員会

資料7に基づき、委員長の綾部会長より経緯、概要、進捗状況について説明があった。研究経費について、研究補助費として次の3案を考えていることが報告され、経費については審議事項で諮ることになった。

①学会への報告書のまとめに必要な事務費

②年次大会参加費の補助

③日本調理科学会誌への掲載料補助

(5) 2022年度大会の件

1) 事業報告及び学会賞授賞式の件

資料8に基づき、綾部会長より2022年度事業報告および学会賞授賞式次第について報告があった。学会賞授与式次第の赤字で示す功労賞受賞者の石田裕先生、長沼誠子先生は今回欠席されるとのことであった。

2) 大会実行委員会からの報告の件

坂本大会実行委員長より、8月31日の時点での参加登録数は、現地参加277名、オンライン参加254名の計531名である、5名は参加費未決済であるので人数についてはまだ変動する、当日の参加様式の変更も受け付ける、参加者本人が名札を準備しての参加となる等の報告があり、実りある大会にしたいとのことであった。

(6) 2023年度大会の件

杉山中国・四国支部長より、2023年度大会については全面对面式で実施したい、多くの会員の参加をお願いしたいとの報告があった。

(7) 企画広報担当理事からの報告の件

資料9に基づき、平尾副会長より6月5日に「特別研究 多様な調理法と家庭料理の伝承」に沿った講演会を実施し、多くの理事の先生方からご参加いただいたことに御礼が述べられた。また、講演後アンケート調査を行ったところ、良いと評価する意見や自由記述が多かったとの報告があった。

(8) 2022-2023年度理事職務分担変更の件

資料10に基づき、綾部会長より北尾悟理事は企画・広報担当から情報管理担当に変更することになったことの報告があった。

**【審議事項】**

(1) 新入会員承認の件

回収資料に基づき、2022年度6月6日から2022年度8月31日入会申し込み一覧（正会員9名、学生会員2名）について、綾部会長より説明があり、確認を行い、承認された。

(2) 若手研究者発表奨励賞の件

新井副会長より、「今大会においても若手研究者発表奨励賞を選考することとなっている、投票方法はGoogleフォームを使用し、投票期間は9月3日9:30から17:00とする、投票結果の確認は規程に則り編集担当の新井委員長と阿久澤副委員長で行い、その後新井副会長、真部庶務担当副会長と理事2～3名にて審査を行う、審査員は岡本理事（次期開催支部）と高澤庶務担当理事にお願いする」との提案があり、審議を行い、承認された。

(3) 2024年度大会の件

資料11（創立からの開催一覧）に基づき、綾部会長より2024年度開催支部は関東支部であることの説明があった。藤井関東支部長より、鎌倉女子大学を会場候補としているが、懸念事項として「会場費が高額となる可能性あること、土・日は行事が入るので平日開催となること、会場の最大収容人数は300名程度であること」があげられるとの説明があり、審議を行い、関東支部で検討していくことが承認された。

(4) 新企画「調理科学の百科事典」の件

資料12に基づき、綾部会長より、8月末に丸善出版から「調理科学の百科事典」刊行の企画案が提示されたこと、この企画案のコンセプト、アピール、目次案等についての説明があり、日本調理科学

会ではこれまで記念事業として書籍を刊行してきたことに鑑み、2027年の創立60周年記念事業として進めていきたい旨の提案がなされた。この企画が承諾されれば、編集幹事会の人選を行い、時間をかけてしっかり編集内容を検討しながら2027年5月刊行を予定したいことの説明があり、審議を行い、承認された。

(5) その他：特別研究 多様な調理法と家庭料理の伝承研究委員会研究経費の件  
報告事項で報告された、研究補助費のうちで、

- ①学会への報告書のまとめに必要な事務費
- ②年次大会参加費の補助
- ③日本調理科学会誌への掲載料補助

について、意見が求められた。その結果、①の事務費の用途が不明である、②は必要ないのではないかと等意見があり、③の学会誌掲載料については「学会として、特別研究の成果を日本調理科学会誌へ投稿・掲載することを積極的に支援する意図である」という学会の姿勢を明確にするならば、認めるという意見があった。今後は学会予算を考慮し詳細を検討するが、本部から研究補助費を出す方針について承認された。

#### 【その他】

##### (1) 新入会員の連絡先について

新入会員の連絡先については、各支部で必要に応じて事務局に尋ねることとする。

##### (2) 次回理事会の件

綾部会長より、2023年1月21日（土）14：00～17：00に開催する旨、連絡があった。

議事録署名人	会長	綾部園子
	筆頭副会長	新井映子
	監事	飯田文子
	監事	高村仁知